

H30年度 前芝中学校 第3学年学年通信



みんな満足



～相手満足の先にある景色を目ざして～

H30. 5. 24
NO. 11

一歩目を踏み出すのは自分

3日目ともなるとこのリズムの生活に慣れてきたようです。

3日目の姿

- 6:00起床。その少し前から目を覚ましていたが、静かに過ごせていた。
- 1番乗りは朝食開始10分前に朝食会場へ。その他の部屋も時間通りに食事開始。他校と重なる時間帯だったが、前芝中生は時間を意識した行動のおかげでゆったり食事をとり、おかわりもできた。他校の先生が感心するほどだった。
- ※ 食器の片づけはすっかり定着した。こういうマナーは今後も大切にしてほしい。
- 部屋を出てバスに荷物を運ぶのも素早かった。早く来たグループはロビーで記念写真を撮ることができた。
- △ 朝早いこともあり、バスガイドさんへの反応が悪かった。
- 国会議事堂への到着が予定より15分ほど早くなった。あと10分遅ければ見学者渋滞に巻き込まれるところだった。
- 写真隊形を学校で練習しておいたおかげで、時間短縮を図ることができた。
- 浅草寺手前でバス下車。前日より声かけをする生徒が増えた。
- 雷門では観光客がごった返していたが、素早い行動でクラスごとに写真を撮ることができた。
- △ 大草履前の集合は予定の3分前。5分前が目標と考えるとあと一息。
- △ もんじゃ焼きづくりでは、はじめは萌花先生に任せるグループがあったが、その後は自分たちでつくることができた。何事も、人任せではなく挑戦することが大事。とても上手に作る人もいたし、やっていくうちにみるみる上達していった。
- そなエリア東京に到着。タブレット端末を持って荒廃した街へ繰り出した。72時間生き延びるための術を学習できた。ビデオ鑑賞も真剣だった。
- × すっかり目が覚めてからのバス移動。ガイドさんの質問にきちんと答える人が少なかった。運転手さんへのあいさつについてもあまりできていないようには思えなかった。「誰かがやったらやる」ではなく「自分から進んでやる」という姿勢が大事。
- × 東京駅到着後、両国ビュー、セレブレーションの両ホテルから忘れ物の連絡が入った。最後の最後まで忘れ物の話題で終える旅行になってしまった。
- △ 帰りの新幹線では少し声が大きくなり他校に迷惑をかけてしまった。旅の最後、開放的になったのだから、最後まで気を付けたかった。
- 新幹線下車後、乗り継ぎの電車が来るまで通路で待ち時間。移動は広がることなくできた。
- △ 最後の電車内、あえて座る必要がないところでいすに座っていた人がいた。次の動きを考えるとさっと降りられる位置で待つべき。疲れていてもあの場面は我慢ができないといけないう。
- 18:40電車は西小坂井駅到着。すぐに解散式を終えた。19:00には全員帰宅の途へついた。

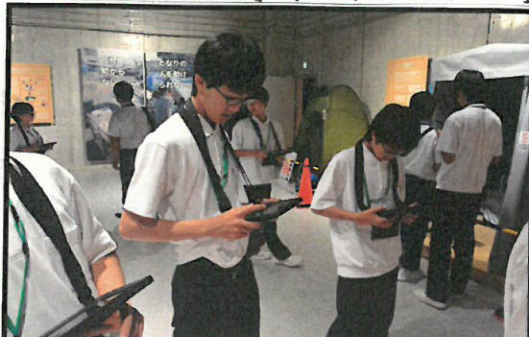
ゆとりをもった行動、食卓の際のあと片づけなどすすんで行動する姿が見られました。写真を撮る余裕もでき、ホテルでミニと一緒に行ったグループもありました。徒歩で移動するときも、広からないように声かけする人が増えました。



「日差しがまぶしいぜ」浅草寺の仲見世で、いかしたサングラスを見つけました。

気になったのはバスガイドさんへの反応です。「疲れて眠かった」朝はそうだったかもしれませんが、しかし、日が高くなるからは話し声が聞こえてきました。そうしたら、やはりガイドさんの呼びかけに答えるのがマナーです。

それともう一つは、誰かのあとを追って動いていないかということです。もちろん人の行動を見て自分も同じにやることは決して悪いことではありません。ただそれが人任せで自分は見ているだけという人もいなかったでしょう。その意味では、そなエリア東京で一人一人がタブレット端末を持ち全員が違う問題に答えながら震災後の街を生き延びるというのは、とてもためになる経験だったことでしょう。



最後の見学地である『そなエリア東京』では、防災について学びました。タブレットをもって荒廃した街をさまよいました。君は72時間生き延びられましたか？！

西小坂井駅の解散は、保護者のみなさんの協力により、10分たらずで完了しました。ありがとうございました。